

## 式 辞

本日は福岡大学創立 75 周年記念式典に多くの方々にご臨席いただき、ありがとうございます。本学を代表して心より厚くお礼申し上げます。

福岡大学は、今年創立 75 周年という記念すべき年を迎えました。本学の発展に関わられた多くの皆様方に深く感謝申し上げますとともに、75 周年を迎えた喜びを皆様方と分かち合いたいと思います。

福岡大学は昭和 9（1934）年に福岡高等商業学校として産声を上げて以来、長年の星霜を経て今年 75 周年の大きな節目の年を迎えたわけですが、これまで激動と変動の歴史的状況の中で、多くの先人たちの苦労とたゆまぬ努力の積み重ねによって、本学はダイナミックな変化と発展の軌跡を歩んでまいりました。西日本あるいは九州地域の中で、本学ほど、大きく変貌した高等教育機関も珍しいのではないかと思います。年配の同窓生や教職員の皆さまには、とりわけ隔世の感を禁じえないと察します。

ここで、福岡大学の歴史を少し振り返ってみます。

昭和 9（1934）年に福岡高等商業学校（いわゆる福岡高商）として創設された本学は、昭和 24（1949）年に新制大学として昇格し、福岡商科大学となりました。創設時からの 20 年間は、商科系の単科の高等教育機関として活動しました。ちなみに、昭和 26（1951）年には附属大濠高等学校が設立されております。

その後、昭和 31（1956）年に福岡大学と改称され、商学部と法経学部の 2 学部体制となり、単科大学から総合大学への道が開かれました。すなわち、昭和 30 年代には、商学部、法学部、経済学部、薬学部、工学部の 5 学部が、昭和 40 年代には、人文学部、体育学部（現在のスポーツ科学部）、理学部、医学部の 4 学部が創設され、20 年間で 9 つの学部体制が整いました。昭和 48（1973）年には福岡大学病院が開設されております。この 20 年間という期間は戦後の高度経済成長の時代であり、わが国は年平均 10%の経済成長率を誇りました。このような中で、本学は名実ともに総合大学としての地歩を固めるに至りました。

本学はその後の昭和 50 年代以降、今日までの約 30 年間は、9 つの学部体制のもとで学科の新設、大学院の拡充などの整備が推進され、教育・研究体制の一層の充実がはかられました。昭和 60（1985）年には福岡大学筑紫病院が、平成 8（1996）年には附属大濠中学校が創設されました。平成 16（2004）年には法科大学院（ロースクール）が創設され、今では本学は、地域社会の中で大きな存在感を有する、教育・研究・医療の高度機能が集積する総合大学として大きな社会的役割を果たしております。

こうして、本学は、75 年に及ぶ歴史の積み重ねによって、九州地区の総合大学、拠点的・シンボルの大学としての位置づけを確保していると言えます。大学部門は、福岡市南西部の七隈地区に集積立地しており、一大アカデミック・クラスターを形成しております。

本学は、創立 75 周年という第 3 四半世紀完成年を記念して多彩な記念事業を展開してきました。

本学の地域的存在と社会的貢献を学内外に発信し、アピールすることができたと確信しております。

創立 75 周年は、本学が過去を振り返り、検証しながら未来を切りひらき、未来を創造する一大転機となる年です。あるいは、本学の長い歴史の中で蓄積された有形無形の資産を

継承しつつ、改善・改革のための政策を推進していくスタートラインとなる年です。

そのために、本学を教育・研究・医療の 3 大高度機能の集積拠点として、人を育て、人をつくるといった使命感あふれる教育拠点として、地域社会に開かれた交流拠点として、風格と品格のある地域の鑑・模範となる地域モデル拠点として、本学が立地する七隈ゾーンを福岡のシンボリック拠点として、さらに磨きをかけていきたいと思えます。

これからも、皆様方とともに、品格と魅力を備えた大学づくりに邁進していきたいと願っております。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

以上、わたくしの記念式典の挨拶とさせていただきます。

平成 21 年 10 月 24 日

福岡大学長 衛藤卓也